

施行 50周年記念 「企業と地域のために 新たな歴史を刻む商工会 全力宣言!!」

商工会しまね県大会



商工会法施行50周年記念 「商工会しまね県大会」

平成22年10月15日、松江市のホテル一畑において多数の来賓を迎え、商工会法施行50周年記念の特別講演と式典が開催されました。(2ページに関連記事)

商工連

しまね

主な 内容

- 商工会法施行50周年商工会しまね県大会 ……(2)
- 商工会法施行50周年商工会しまね県大会続き ……(3)
- 新規学校卒業者の採用に関する要請……………(3)
- 地域に密着し地域を支える商工会を目指して…(4)
- 中四国ブロック商工会青年部交流会……………(5)
- 商工会女性部「ビーチバレーボール大会」 ……(6)
- 中四国ブロック商工会女性部交流会……………(6)
- 休業補償制度……………(7)
- 小規模企業共済改正について……………(8)
- 珠算検定 合格おめでとう……………(8)

No. 280

平成22年10月29日発行

発行/島根県商工会連合会
松江市母衣町55番地4
TEL : 0852-21-0651
石見支所
TEL : 0855-22-3590
URL <http://shoko-shimane.or.jp/>
E-mail: shokolen@shoko-shimane.or.jp
印刷 : 株式会社島根県農協印刷



「企業と地域のために 新たな歴史を刻む商工会 全力宣言!!」

商工会しまね県大会

県内商工会から250名余りの参加のもと盛大に開催!!

平成22年10月15日、松江市のホテル一畑において、井辺中国経済産業局長、溝口島根県知事を始め、多数のご来賓を迎え、「企業と地域のために 新たな歴史を刻む商工会 全力宣言!!」をスローガンに、商工会法施行50周年記念商工会しまね県大会が開催された。

記念講演

ジャーナリスト・キャスター、信州大学経営大学院客員准教授の三神万里子氏を迎え、「農商工連携が新たなビジネスの未来を拓く」を演題に記念講演が開催されました。

三神氏には、農商工連携を核とする、新たなビジネスモデルを構築していくための、具体的な方策を示していただきました。



講演をされる三神万里子氏

記念式典

まず、商工会を代表して石飛島根県商工会連合会会長が、本年は「商工会の組織等に関する法律」が施行されて以来50年という節目の記念すべき年であるとした上で、「商工会は大きな時代の流れの中で新しい姿、役割を求められている。」

県内の小規模業者は減少傾向が続いているが、私たち中小・小規模事業者は、地域の経済を支え雇用を守っている自負があり、この難局を打破し地域を再生していくという強い使命感をもって経営に精励し、また様々な地域振興活動に参加している。

商工会も、新分野進出、経営革新、創業支援、そして地域資源の活用、農商工連携などこれまでも積極的に推進してきたが、中小・小規模企業の発展と

地域経済の再生のため、これまでに以上で全力で行動をしていく決意である」とあいさつを行いました。

また、ご来賓でお迎えした井辺中国経済産業局長、溝口県知事、田原島根県議会議長、石澤全国商工会連合会会長からのご祝辞を賜り、たくさんの祝電も披露されました。



あいさつをする石飛会長

中国経済産業局長表彰・ 県知事感謝状・県連会長表彰

長年にわたり商工会の役員として、商工会の組織強化と地域商工業の振興発展にご尽力された功労者2名に、中国経済産業局長表彰が授与され、また溝口島根県知事より、7商工会・7商工会青年部・7商工会女性部・役員34名に知事感謝状が贈られました。

次に、島根県商工会連合会会長表彰として、役員功労者と青年部功労者、女性部功労者、優良常勤役員、148名が表彰されました。

受賞者を代表して、美郷町商工会の大利邦雄会長が、過疎化、少子高齢化、後継者問題など様々な課題を抱えて行く中で、新たな町づくりや、地域商工業の振興発展を目指し微力を尽くす決意である旨、謝辞として述べられました。



表彰を受ける大利美郷町商工会会長

中国経済産業局長表彰の受賞者は次のとおりです。

- 大利 邦雄
(美郷町商工会会長)
- 岡田 耕作
(川本町商工会会長)

事例発表

「地域資源の活用で
奥出雲から全国へ」



事例発表をされる井上社長

地域資源・農商工連携活用企業として、有限会社井上醬油店の井上社長が、奥出雲町の地域資源である仁多米を使った甘酒の開発について事例発表を行いました。

農商工連携・地域資源活用PR

パネル展示

式典会場前では、事例発表を行われた有限会社井上醬油店など、島根県東部地区3企業、西部地区3企業の農商工連携や地域資源を活用した商品について展示を行い、たくさんの方に本事業についてPRすることができました。

記念パーティー

式典の後、記念パーティーが催され、井辺中国経済産業局長や溝口島根県知事などご来賓と石飛県連会長による鏡開きや津和野町商工会女性部による琴の演奏が行われ、交流懇親を深めました。



津和野町商工会女性部の皆さんによる
琴の演奏



農商工連携・地域資源活用
パネル展示会場

平成23年3月

新規学校卒業者の採用に
関する要請

去る、8月30日に島根県市長会の松浦 正敬会長・島根県町村会の山碓英樹会長が、松江市母衣町の松江商工会議所で商工会連合会の石飛善和会長など経済4団体の代表に新規卒業者の採用に関する要請をされました。要請文では、平成23年3月の新卒者の就職難が予想され、未就職者の増加は、将来的に各地域の経済・社会に大きな影響をあたることが懸念されると説明、県内事業の事業主の皆様には、新規学校卒業者の積極な雇用にご協力いただきますようお願い致します。



日本政策金融公庫は地域の中小企業のみなさまを積極的に応援します！



セーフティネット貸付のご案内

ご利用いただける方	ご融資額	ご返済期間	利率(年利)
社会的、経済的環境の変化などにより、一時的に業況が悪化している方等	4,800万円以内	運転資金 8年以内	1.65%~2.35%
		設備資金 15年以内	2.15%~2.85%

※ 利率は平成22年8月11日現在のものです。
 ※ お使いみち、返済期間、担保・保証人の有無によって異なる利率が適用されます。
 ※ 利率は金融情勢によって変動いたしますので、お借入金利(固定)は、記載されている利率とは異なる場合がございます。

他にも様々な融資制度があります。

新たに事業を始める方へ

新規開業資金

IT設備の導入により業務の高度化をお考えの方へ

IT資金

お子さまが入学・在学される方へ

国の教育ローン



日本政策金融公庫

松江支店 国民生活事業 TEL 0852-23-2651
 浜田支店 国民生活事業 TEL 0855-22-2835

地域に密着し、地域を支える 商工会を目指して

商工会連合会 金築 専務理事

「新・商工会のあり方 検討特別委員会」の答申

去る8月27日朝、「新・商工会のあり方検討特別委員会」安部委員長から、島根県商工会連合会石飛会長に『新しい商工会のあり方について』地域に密着し、地域を支える商工会を目指して』（答申）が提出、受理された。

そして同日午後開催された役員会で、このことについて役員の方々に報告するとともに、この答申をもとに今後の商工会のあり方をまとめることおよび関係先に必要な要望活動を行うこともご説明し、ご理解を得た。



答申の背景と経緯

本県では、厳しい社会・経済状況の中、商工業者が大幅にその数を減少させるなど、とりわけ中山間地域の疲弊が著しい。

また、市町村合併に伴いかつての役場が支所等となるなど、公的機関の縮小・撤退が相次ぎ、集落の維持さえ困難な地域も散見される状況となっている。

これらの地域を主として担う商工会は、地域で唯一の総合経済団体として、また地域コミュニティの中核的存在としてより大きな期待を受けるようになってきているが、一方で小規模事業者の減少、それに伴う職員の削減という厳しい現実にも直面している。

このような状況の中で、島根県商工会連合会は昨春秋、今後の商工会のあり方を考察するために全会員を対象としたアンケート調査を実施した。この結果、会員を取り巻く厳しい現状と、商工会に対する期待等が浮き彫りになった。

特に、平成17年に取りまとめられた『今後の商工会のあり方』では「統合または廃止することが望ましい」としていた支所については、8割を超える会員が「（自主財源で・行政の支援を得て）維持すべきだ」と回答されている。この事実は重く

受け止める必要があると考えられた。また、「あり方」の想定より厳しい環境が現出したという現実もあり、本年4月に特別委員会を立ち上げ、改めて今後の商工会のあり方について検討を進めていただくことになったのである。

第1回の特別委員会は4月27日に開催され、答申までの間に3回の委員会が持たれたが、なんとについても検討のポイントは支所の問題である。この問題にどう答えるか？県連事務局は支所に替わる「地域密着型応援窓口」を提案して答えとした。

地域密着型応援窓口（窓口）は、仮称であるが、地域を支援する地域に密着した組織であり、単なる従来の支所の存続ではなく、新たな役割を担う、いわば新しい概念といってもよからう。

地域密着型応援窓口

「窓口」は、①記帳、金融、税務等の小規模事業者の基礎的経営支援、②地域資源の発掘など地域の産業振興、③地域間連携の支援、④地域貢献活動の支援など、地域の会員が日常的に求める業務を担当する。担当区域は合併した商工会の支所の区

域とし、原則として経営指導員と記帳専任職員を配置する。

このような「窓口」ができれば、商工会に寄せられる期待にはおおむね応えることができると考えているのである。しかし、この「窓口」の設置は、結果として職員数の現状維持につながるものであり、商工会のみの力では実現できない。県のご理解とご支援が必要である。

現在、各商工会に配置されている経営指導員、指導職員は、その人件費の約70パーセントが県からの補助金でまかなわれている。現在の県の補助基準では、補助対象となる職員の数はその商工会地区の小規模事業者数によって決まる仕組みになっており、小規模事業者数が減少すれば経営指導員等の数は減らさざるを得ない。

しかし、小規模事業者が減少したから職員を削減するというやり方は中山間地域の疲弊に拍車をかけ、悪循環を増幅することになりはしないであろうか。私たちは、地域の疲弊にストップをかけるためにも、「窓口」をぜひ実現させたいと思う。

答申後の取り組みとこれから

答申の取り扱いについては、

石飛県連合会会長との協議の上、答申をもとにして「当面の行動指針」としてまとめることなどを決定し、その後の企画委員会にご報告してご了解をいただいた。

答申は「窓口」についてのみ述べているわけではない。事務局長設置基準の見直し、隠岐の地域性に鑑みた職員採用における「隠岐枠」の設置、さらに地域振興や、受託業務のことなどについても、方向性を示していただいている。

現在、県連合会の方では、企画委員会でのご意見を踏まえ、「行動指針案」の調整中であるが、今後この「行動指針」案について様々な機会を通じて皆様方のご意見をしっかりといただきたいと考えている。

一方、9月14日には石飛会長が島根県知事に補助基準の見直しを要望するとともに、各商工会長さん方のご協力も得て関係の方々への要望活動も行い、各方面のご理解が広がりつつある。

今後、皆様のご意見をいただきながら「行動指針」を取りまとめ、その実現、実行を皆さんとともに進めていきたいと考えている。ご理解、ご鞭撻をお願いする次第である。

平成22年度 中国・四国ブロック商工会

青年部交流会島根大会 開催

夢・未来・挑戦（袖すり合うも多生の縁）

をスローガンに9月25日ホテル一畑において、中国・四国ブロック青年部員750名参集のもと盛会に開催された。

交流会では、主催者（中国・

四国ブロック商工会青年部連絡協議会・岡山県青連 中原会長）

挨拶に続き、開催地である島根

県の石飛商工会連合会長の歓迎

挨拶、さらに来賓でお迎えした

中国経済産業局井辺國夫局長、

溝口島根県知事、松浦松江市長、

宮本全青連会長からご祝辞を賜

り、参加者全員が青年部に課せ

られた地域振興への役割や期待

の大きさを再認識するべく、熱

のこもった幕開けとなった。



開会宣言をする岩成裕治会長

主張発表大会

開会式に続き、中国四国ブロック商工会青年部主張発表大会が行われ、各県代表の9名が、持ち時間10分という短い時間の中で、日ごろの青年部活動を通しての思いを熱く訴えられた。

島根県代表の藤江浩貴さん（斐川町商工会青年部）は青年部活動と地域振興・まちづくりをテーマに「3歩進んで・2歩さがる」水前寺清子の三六五歩のマーチの一節を引用し日々の青年部支部活動から生まれたヒーロー戦隊ショーなどを通じて子供や大人達に元気をあたえ、近頃疎遠になりがちな地域における人と人との繋がりを大切にしていこう活動について発表をした。結果は惜しくも優良賞であったが、他県に負けない堂々とした発表態度であった。

栄えある最優秀賞は山口県代表、伊藤孝之さん（下関市商工会青年部）が選ばれ、11月25日東京で開催される「主張発表全国大会」の中四国代表として出場することとなった。

結果は次のとおり

最優秀賞 伊藤孝之（山口県）

優秀賞 上田啓悟（鳥取県）

優良賞 藤江浩貴（島根県）

他



主調発表をする藤江浩貴さん

記念講演会

記念講演は、島根県浜田市出身の元プロレスラーアニマル浜口氏を迎え、「人材育成は気合いダア」と題し奥出雲町商工会

青年部の塔村俊介さんが聞き手となって講演会を開催した。

最初に娘の浜口京子さんの活躍をメインとした親子の歩みの映像を放映した後、会場が暗くなり、「本日のメインイベント講師、アニマル浜口選手の入場です」の呼び込みにより、現役時代に流れていた音楽にのって登場。

当初、塔村さんと入念に打ち合わせをしてのトークショーと思いきや、アニマル浜口氏の独壇場でのトーク。テレビのイメージとは違い、話し出すと止まらない状況で、塔村さんも合間で話に入るのが大変な様子であった。

最後には、浜口氏おなじみのかけ声「気合いダア」10連発を会場全員で発声、また、謝辞に登場した森加県青連副会長は、ラッシュャー木村に変装しての登場で一層会場を盛り上げ、終始笑いの絶えない講演会となった。



交流懇親会

中国四国ブロック商工会青年部連絡協議会の旗引継ぎ（島根から高知）、次年度開催県の高知県青連によるPRタイムを行い、交流会はここで終了。引き続き交流懇親会を開催した。

来賓代表5名による鏡開きのあと、アニマル浜口氏の乾杯発声で懇親会がスタート。ちびっ子どじょうすくいや石見神楽を披露した後、島根スサノオマジック選手・チアリーダーを迎えてBJリーグ参入のPRを行った。また、各県青連会長によるフリースロー大会を開催し場を盛り上げた。最後に岩成会長が感極まり涙での挨拶登壇に県内青年部員が集まり、感動的なラストで交流懇親会を終えた。



親睦ビーチボール バレー大会

鳥根県商工会女性部親睦スポーツ交流・第16回ビーチボールバレー大会が8月22日(日)、健康センター元気館・瑞穂中学校体育館で開催され、県内各地から18チーム・97人が出場した。

大会予選は、健康センター元気館・瑞穂中学校体育館の2会場で行われ、決勝リーグは健康センター元気館で行われた。熱戦の末、飯南町商工会のピオニーチーム(橋村睦子監督)が優勝を飾った。

開会式では県女連の大谷恵美子会長が「親睦という趣旨のもと、和やかに精一杯頑張つて下さい。」と激励したのに続き、Aコート1番のパープルチーム(邑南町)の代表者4名が力強く選手宣誓を行い、各チーム健康センター元気館・瑞穂中学校体育館の4コートに分かれて、試合を開始した。



左：優勝したピオニーチーム 右：準優勝のまつえ北チーム

大会の結果は次のとおり。

【優勝】

ピオニー(飯南町)

【準優勝】

まつえ北(まつえ北)

【第3位】

麟麟俱樂部(奥出雲町)

【第4位】

レッドいわみ(邑南町)

【特別賞】

「来年もまた来ま賞」

舞 姫(津和野町)

「楽しくプレー出来たで賞」

パール(邑南町)

「これからも頑張ります賞」

燦燦俱樂部(奥出雲町)

出会は人生の宝〜スマイル女性部 輝いて夢ある未来へ〜

中国・四国ブロック商工会女性部交流会in山口

中国四国ブロック商工会女性部交流会が9月2日・3日の両日、山口県に於いて中四国各県から813名を集めて開催された。本県からは、153名が参加。

開会式に続き、中国四国ブロック商工会女性部主張発表大会が行われ、各県代表の9名が、持ち時間10分という短い時間の中で、日頃の女性部活動への取り組みについて熱弁をふるった。



日頃の想いを熱く訴える須谷さん

鳥根県代表の須谷真由美(出雲商工会女性部)さんは、『こんなにも近くにあった暖かくて

優しい 大きな力「神迎の道」

は「出会い道」をテーマに、「神迎の道」とのかかわりの中で、女性部員と地域住民の方と交流を深め、まちづくり活動に一丸となっている様子、また、地元の小中学生や高校生、秋田県の方との心温まる「ご縁」についてのエピソードの様子を表現豊かに発表されたが、残念ながら最優秀賞には届かなかった。

最優秀賞は広島県代表の山村恵美子さん、優秀賞は鳥取県代表の浜田末子さんに輝いた。

主張発表終了後は、(株)ケイ・アンド・ワイの杉山裕子さんによる、「自分の気持ち大切に相手の気持ちも大切に」EQ心の知能指数を使つて」と題して講演が行われた。

自分の気持ちを大切にすることで、周りの人の気持ちを受け止めることができるようになり、対人能力を高めることに繋がるなど、今後の自身の言動を見直すきっかけとなる、有意義な講演であった。

交流会の後、会場をホテル



基調講演をする杉山さん

ニュータナカに移し、懇親会・次年度開催地への引継ぎが行われた。

懇親会では、歌あり、踊りありで、部員交流も盛んに行われ、大変盛り上がった。次年度開催地の高知県は、よさこい踊りや龍馬とお龍を演じてPR、次年度の交流会成功を誓った。

翌日は、カルスト台地を通り、ガイドの方の説明を聞きながら金子みすず記念館、城下町萩・菊屋横丁、萩博物館と移動研修を実施して、今年度の交流会を終了した。

毎月加入受付中

全国商工会の会員および従業員のための
全国商工会経営者休業補償制度
(団体所得補償保険)

病気やケガによる就業不能中の月々の所得を補償します。

本制度のメリット

保険料は個別にご加入されるより

52%割安

団体割引20%
過去の損害率による割引40%適用

保険期間:2010年10月1日午後4時から2011年10月1日午後4時まで

ご加入対象

- 基本契約(所得補償保険)
 - 全国商工会会員の経営者および従業員の方のみ
 - 奥様安心プラン
(家事従事者特約付所得補償保険)
- 商工会会員の経営者、従業員の配偶者で、
加入時年齢が64才までの家事従事者の方

この広告は概要を説明したものです。

詳細の説明、お問い合わせは取扱代理店もしくは(株)損害保険ジャパンへお願いします。

取扱代理店
有限会社 島根商工商事
〒690-0886 島根県松江市母衣町55-4
島根県商工会館4階
Tel 0852-21-0651 Fax 0852-26-5357

引受保険会社
株式会社 損害保険ジャパン
島根支店 松江支社
〒690-0007 島根県松江市御手船場町549-1
Tel 0852-21-9700 Fax 0852-27-7841

SJ10-05444 (2010/9/2作成)



小さな負担・大きな安心
県共済の火災共済

火災事故のほか落雷、破裂爆発、風災、雪災の自然災害も担保します。

お申し込み、ご相談は 県下各商工会へ
島根県火災共済協同組合
☎0852(21)0249

島根県商工会連合会会員の皆さまへ!

自動車共済掛金がせらにお得に。



団体割引①(10%)と
団体割引②(損害率
による割引率)をプ
ラスして共済掛金を
割引します。



詳しくは
こちら!

西日本自動車共済協同組合 島根県支部
〒690-0017 松江市西津田 5-1-7
TEL: 0852-26-5270



**相談
無料**

中小企業のみなさまへ

何でも相談ホットライン

島根県信用保証協会は、中小企業の方々の様々な経営に関する相談に応じる「何でも相談ホットライン」を開設しております。お気軽にご利用ください。

例えばこんなとき...

- 経営がうまくいかない。
どうすればよいだろうか。
- 資金繰りが一向によくない
 - めまぐるしい環境の変化への対応に困っている
 - 売り上げは順調だが、利益が上がらない



何か打つ手がないか、
私たちと一度一緒に
考えてみませんか?

- ◆保証協会のご利用がない方、創業予定の方からの相談にも応じます!
- ◆留守番電話・FAXにより24時間相談に応じます。

また、要請があれば休日・夜間の相談にも応じます。

電話・FAX
(共通)



フリーダイヤル
0120-40-5471

シエン ゴシナイ



島根県信用保証協会

ホームページURL
<http://www.shimane-cgc.jp>

小規模企業共済制度 が充実します。

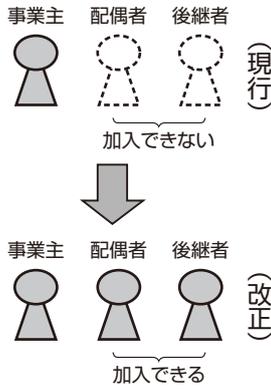
○小規模企業共済の加入対象者を個人事業主の配偶者や後継者などの「共同経営者」まで拡大します。

【平成22年度中に実施】

○小規模企業共済の加入対象者を個人事業主の配偶者や後継者などの「共同経営者」まで拡大します。個人事業主の方の親族でなくとも、「共同経営者」(※)であれば加入できます。

○共同経営者の方の掛金は金額所得控除の対象となり、受け取られる共済金も退職所得控除等の対象になります。

※お2人まで加入できます。



改正日 平成23年1月1日

詳しくは商工会まで

合格おめでとう

第158回商工会珠算検定試験が9月19日(日)に全国一斉に実施され、島根県では46名が受験し、38名が合格しました。

三級までの合格者は次のとおり

- 一級合格者 該当者なし
- 二級合格者 該当者なし
- 三級合格者 該当者なし

農業の明日をつくる メインバンク

農商工連携に取り組みます。



「地球にやさしい企業」として
お客様の期待に
品質と信頼で応えます

品質マネジメントシステム
ISO9001:2000
環境マネジメントシステム
ISO14001:2004
認証取得

プライバシーマーク
認定取得

FSC COC
認証取得

挑戦と創造で地域と情報をネットする

株式会社 島根県農協印刷

本社 ●松江市浜乃木2丁目10-52 TEL(0852)21-3476 FAX(0852)21-3866
 斐川工場 ●簸川郡斐川町大字坂田564 TEL(0853)63-3476 FAX(0853)63-3855
 斐川営業所 ●簸川郡斐川町大字坂田564 TEL(0853)63-3476 FAX(0853)63-3855
 浜田営業所 ●浜田市下府町880-1 TEL(0855)24-8227 FAX(0855)24-8223
 会館事務所 ●松江市殿町15(島根JAビル別館1F) TEL(0852)31-3611 FAX(0852)24-1315
 広島営業所 ●広島市安佐南区西原二丁目24-22(セントラルメゾン福岡) TEL(082)850-2207

環境にやさしい大豆油インキを使用した印刷物の制作に取り組んでいます。



大豆油インキを使用した印刷物に「環境にやさしい印刷物」のマークが自印です。



10190765(02)
JIS S5001:2006準拠



JQA-QMA12052
JQA-EM5273
本社・斐川工場



責任ある森林管理
SA-COC-002268
©1996 Forest Stewardship Council A.C.



毎日の暮らしに欠かせない電気を確実にお届けする。その使命と責任を果たしていくために。

私たちは、原子力発電に係る業務運営手順を見直すことはもとより、社員ひとりひとりの意識、

姿勢を正していくことで企業風土そのものを変革してまいります。

より厳しく、よりオープンに。

地域のみならず、もう一度信頼を寄せていただける電力会社をめざして。

安全を最優先に、私たちは新たな決意で取り組みます。

中国電力株式会社